

金物+パネル工法で住宅生産合理化

建てて良かったと思われる家を

軸組みでパネルをはめ殺しにするスモリ工業の構造躯体は釘を使わないため、解体が容易で、実大振動実験に使った試験体も本社に移築して展示している。こうした取り組みは山からの一貫生産と合わせて国

になり、4Pの寸法がびびりたり入る。つくばで行った実大振動実験では阪神大震災の揺れに2度耐えた。一般の住宅であれば1階と2階がぐぐぐはぐに動き、合板が柱か



ネットイーグル社長 祖父江 久好氏



スモリ工業社長 須森 明氏

交省に採択された超長期住宅先導的モデル事業にも取り入れられている。最近ではリサイクル性を一段と高めるため、基礎を作らず土台を柱勝ちにして地中に打ち込んだパイ

らずれて釘が抜ける。これでは次に地震が来たら持たない。スモリさんのブロックのような形で上下階が一緒に動き、パネルには動いた形跡がな

共通していたのは社会性

なら余計なコストがかからない。安かろう、悪かろうではなく、建てて良かったと思われ家を作らなければならぬ。

祖父江 構造がしっかりしているから資産価値を維持できる。そういう住宅は10月から施行される住宅瑕疵担保履行法でも保険の割引率が違う。本社はモラルの高い住宅

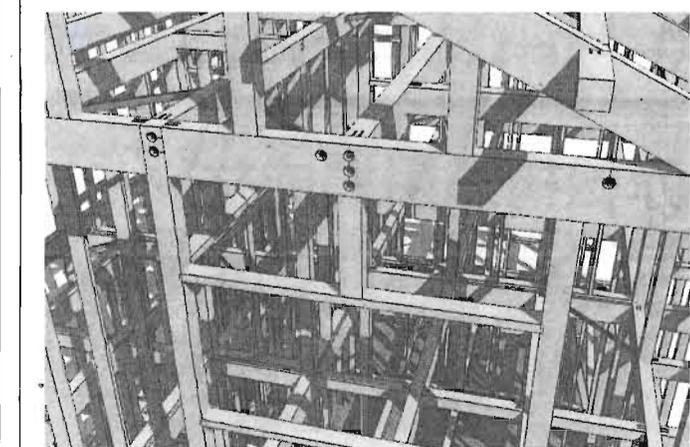
はもう一度ムラ社会に戻らないといけない。昔は隣近所の目が光っていたから悪いことはできなかった。今は何もかも約子定規になりすぎて

引き渡し後も毎年餅つきをして、その年に建てた施主さんの家を1軒1軒回りの入居後の感想を聞いています。職人さん、施主さん、人と人、心と心をどうつなぐかが重

須森 景気が悪化し、雇用が不安定になるなかで、これからは30年の口を組むのも難しくなる。住宅を手放さなければならなくなった時、移築できれば建物が売れる。基礎を打つと撤去するのが難しいが、パイル

国産材で集材材を生産するとコストが高くなりがちだが、スモリ工業は「せんプレカットは材料の供給体制や施工体制を改革することで競争力を確立した。「山からの一貫生産」または「地産一貫集約建築」と呼ばれる

泉田 須森社長はよく「地元の家は地元の材料で」と言われる。海外の人を買ってもらわなければならないのだから、地域で使うお金は地域に落とすのが一番良い。



4Pパネルの組み立て風景

ネットイーグル株式会社

URL: <http://www.neteagle.co.jp/>



■本社
〒819-0001
福岡県福岡市西区小戸3-54-50
TEL: 050-3536-5961 (IP電話)
FAX: 092-882-7556

■中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町朝日165番地ナガタニビル3階
TEL: 050-3538-0221 (IP電話)
FAX: 0587-53-8830

■東京CADセンター
〒108-0014
東京都港区芝4丁目3番7号エムジー田町ビル2階
TEL: 050-3537-8851 (IP電話)
FAX: 03-5443-3800

実施設計CAD(ネットワークCAD)

OPEN-NET XBASE (エクスペース)

構造設計CAD(プレカットCAD)

OPEN-NET XSTAR (エクスター)

瑕疵担保保険、長期優良住宅、4号特例撤廃

次代はプレカットから設計サポートセンターへ

求められる整合性、問われる運動性能

XBASE/XSTARは、意匠~構造~構造計算~積算が直結しています